

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	雪かきお助け隊支援事業
事業主体 (連絡先)	売木村
事業区分	(1)地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	1,846,640 円 (うち支援金: 1,231,000 円)

事業内容

現在村内5地区への除雪機が配備されているが、道路の整備により学校の通学路の除雪区間が増えたこと、商店街周辺の高齢化による除雪希望が増えたことにより、除雪機が配備されていない2地区に対しても除雪機を配備しお助け隊員が有効に利用することで、地域の住民が自主的に協力し合い、安心して暮らせる地域づくりを推進する。



【降雪時の通学路除雪作業】

【目標・ねらい】

- ①高齢者世帯を除雪に訪問し声をかけることで、住民が安心して暮らせる村づくりにつながる。
- ②除雪により歩道が確保でき登下校中の児童の交通安全対策となる。
- ③除雪機の台数を増やすことにより迅速に除雪作業が完了でき、降雪後の安全確保が容易になる。

事業効果

- ①お助け隊として、積極的に訪問した家の方に声をかけていただき、冬場の降雪時の不安解消につながった。
- ② 朝の通学時間、夕方の下校時間に間に合うように歩道の除雪に入っただき登下校時の通行の不安が解消できた。また、時間によっては登下校時の子どもの見守りにもなった。
- ③除雪機の増により懸案だった通学路・生活道路の除雪ができるようになった。また、除雪希望世帯に対しても早い段階で除雪に入れるようになった。

※自己評価【 B 】

【理由】
除雪機増により今までできなかった通学路・生活道路の除雪ができるようになった。また、除雪希望者に対しても早いうちに除雪に入ることができるようになり、期待通りの効果が得られた。

今後の取り組み

今後も雪かき等の支援活動は村全体で増大していくと予想されるため、お助け隊員の加入を推進していく。UIターン者や地域おこし協力隊には積極的に村から声をかける。お助け隊に加入していただくため、CATV、村広報など利用し活動の周知と隊員の募集を行っていく。一方で、今後お助け隊の活動の幅を広げることも検討していきたい。軽トラック用の塩カル散布機を村で購入し地域住民に貸出することで、村で対応しきれない村道の塩カル散布を行ってもらう仕組みづくりなど。住民が自助・共助の意識を持ち自分たちで積極的に行動し解決していく意識を持てるように活動の支援を行っていきたい。